企業の出勤状況調査（2026年8月）

＜アンケート結果総括＞

▪ 集計結果概要

- 約7割の企業がテレワークを実施しており、約6割の企業が時差出勤を実施しているなど、柔軟な働き方が継続して実施されている
- テレワーク、時差出勤ともに、多くの企業が前回調査時と同程度の規模で継続して実施しており、取組が定着している状況が見られた
- 交通障害や荒天時の勤務対応方針については、「必要に応じて個別判断している」と回答した企業が最も多かった

〇以前から引き続き、多くの企業の皆様には、テレワークや時差出勤を始めとするスムーズビズの取組にご協力いただいています。
〇テレワークや時差出勤を始めとするスムーズビズの取組は、通勤ラッシュの回避や新しいワークスタイルや健康経営の実現にも役立ちます。引き続き、スムーズビズにご協力をお願いします。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
引き続き、定期的に調査を行い、登録企業の皆さまの取組状況把握に努め、都の取組検討に活用してまいります。
今後とも、アンケートへのご協力をお願いいたします。

※Q8「通勤時の鉄道混雑状況について」は、回答データを取得できていなかったため、本資料の集計対象外としております。
ご回答いただいた皆様には、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

企業の出勤状況調査（2026年8月）

＜実施概要＞

■対象：**約65,000社**

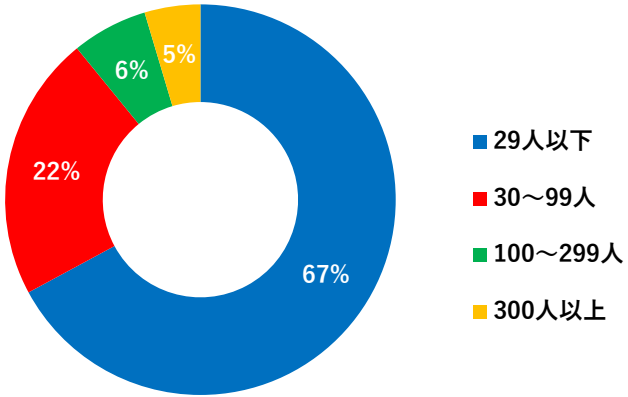
■質問項目

Q1:令和8年5月～7月の取組内容
Q2: 2026年5月からの取組規模の変化
Q3: テレワークと時差出勤について
Q4: 従業員の出勤割合
Q5: 従業員の出勤時刻
Q6:交通障害や荒天時の勤務対応方針について
Q7:交通障害や荒天時に実際に行った対応について
Q8:交通障害や荒天時の時差出勤・テレワーク等の効果について
Q9:交通障害や荒天時の時差出勤・テレワークにおける課題について
Q10:交通障害や荒天時の勤務継続対応として今後強化したい取組について

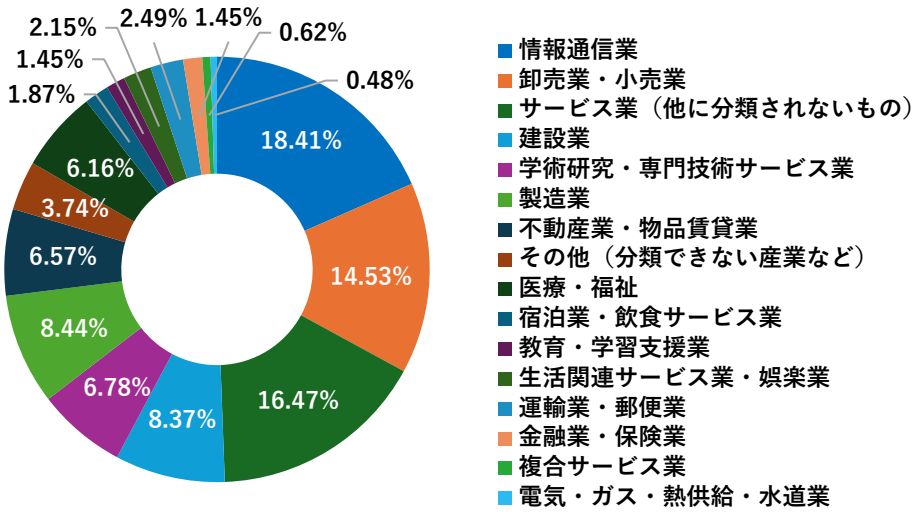
※Q8は回答データ未取得のため、集計対象外

■総回答企業数：1,451社

■実施期間：2026年8月10日(月) ～ 8月31日(月)



企業規模内訳

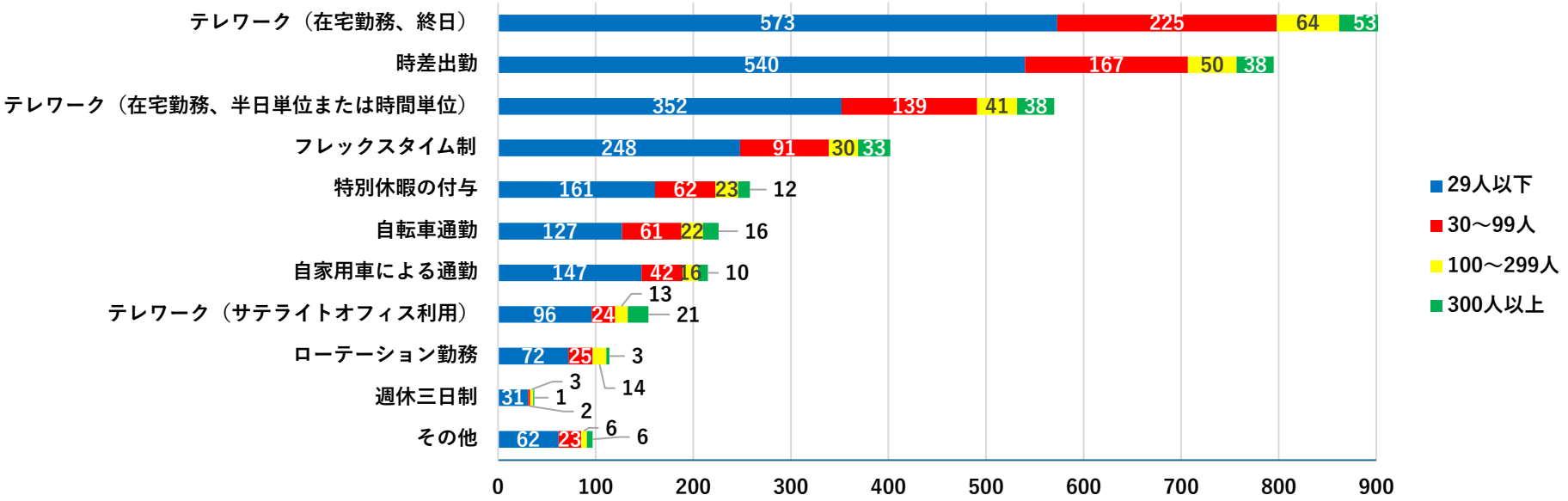


業種内訳

Q1: 令和8年5月～7月の取組内容

令和8年5月～7月に実施した取組内容 （複数回答可）

- 約6割の企業がテレワーク（在宅勤務・終日）を実施しており、時差出勤についても約6割の企業が実施している
- フレックスタイム制や自転車通勤など、多様な取組を実施する企業も見られた



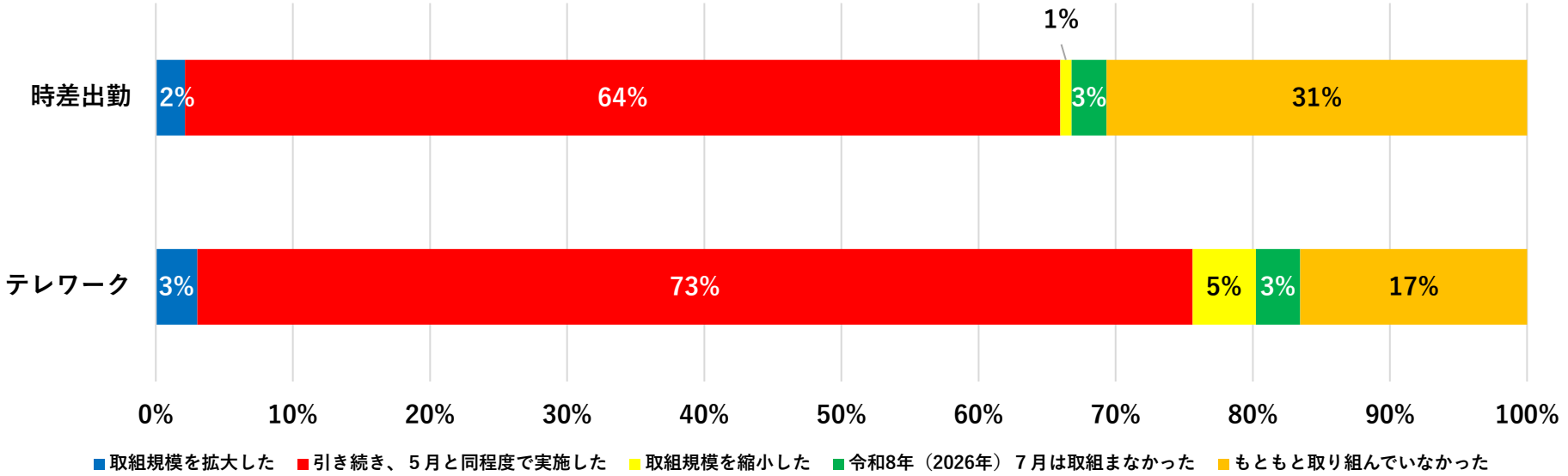
取組内容と企業規模の内訳　　N=1,451　　総回答数3,783（複数回答）

Q2: 2026年5月からの取組規模の変化

2026年5月と比較したテレワーク・時差出勤の取組規模の変化

- テレワークは約7割、時差出勤は約6割の企業が、2026年5月と同程度の規模で取組を実施している
- 一方で、「もともと取り組んでいなかった」と回答した企業は、テレワークが約2割、時差出勤が約3割となった

※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



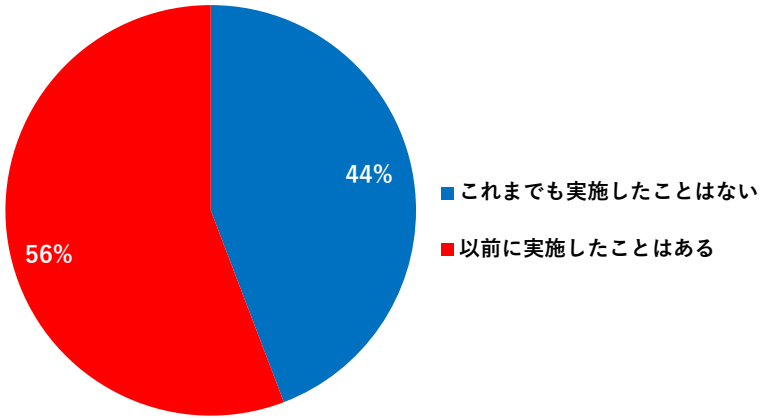
テレワーク・時差出勤の取組の変化

（N=1,451）

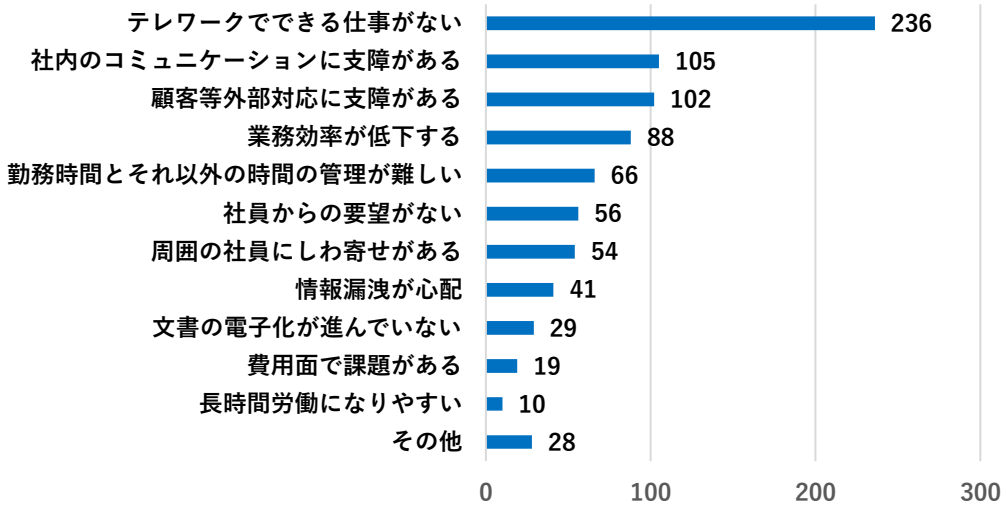
Q3-1：テレワークを実施していない企業の状況

Q1において、テレワークを選択しなかった企業の状況
（※取組内容としてテレワークを選択していない企業）

- テレワークを実施しない理由としては、「テレワークでできる仕事がない」が236件で最も多かった
- 次いで、「社内のコミュニケーションに支障がある」が105件、「顧客等外部対応に支障がある」が102件となった



テレワーク実施状況　（対象企業数=543）

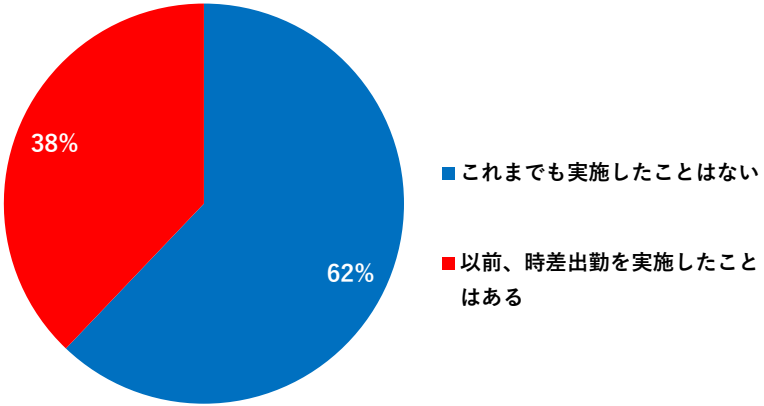


テレワークを実施しない理由　総回答数834（複数回答）

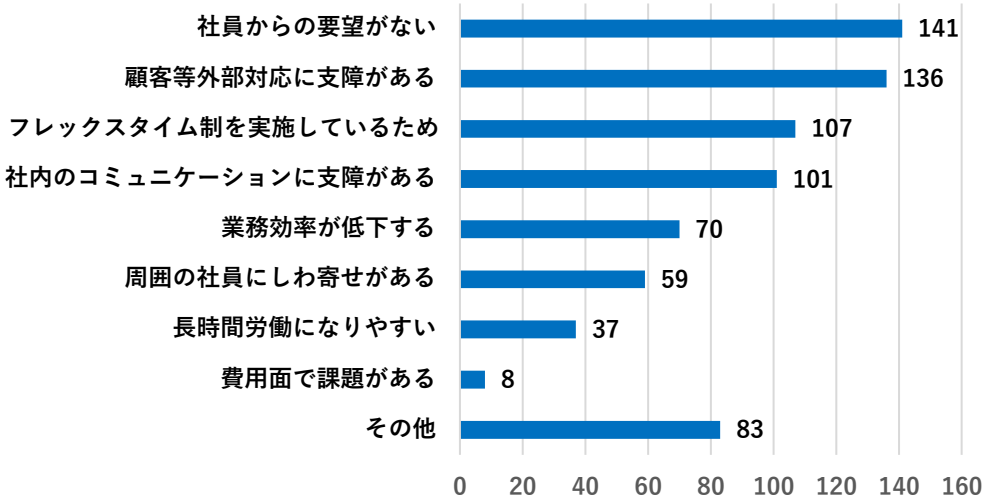
Q3-2：時差出勤を実施していない企業の状況

Q1において、時差出勤を選択しなかった企業の状況
（※取組内容として時差出勤を選択していない企業）

- 時差出勤を実施しない理由としては、「社員からの要望がない」が141件で最も多かった
- 次いで、「顧客等外部対応に支障がある」が136件、「フレックスタイム制を実施しているため」が107件となった



時差出勤実施状況　（対象企業数=586）

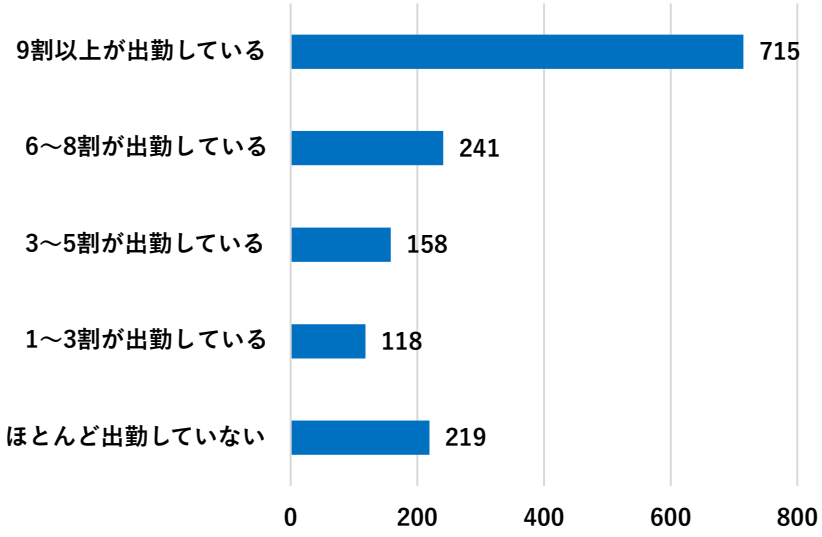


時差出勤を実施しない理由　総回答数742（複数回答）

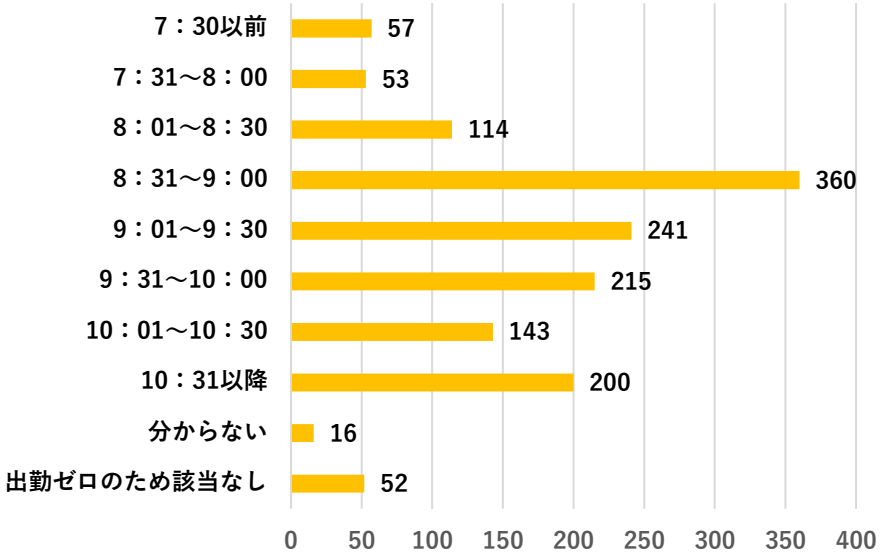
Q4,5：従業員の出勤割合と時間帯

2026年7月時点までの従業員の出勤割合とその時間帯

- 約半数の企業が「9割以上の従業員が出勤している」と回答している
- 出勤時間帯は「8:31～9:00」が360件で最も多かった



出勤状況　（N=1,451）

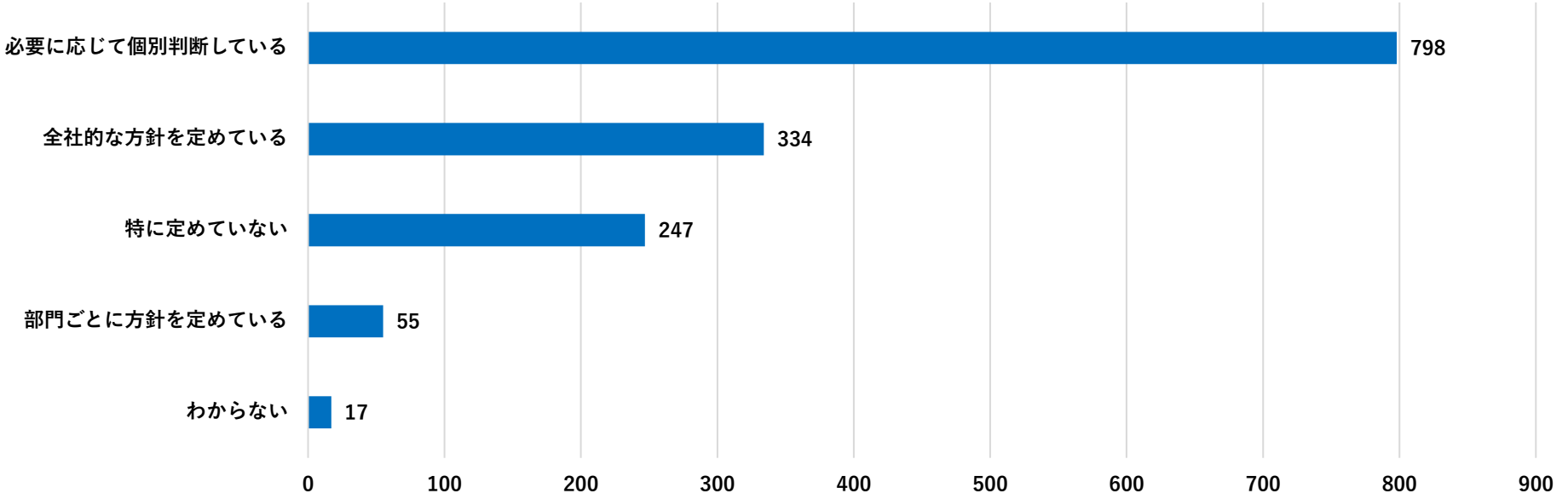


出勤の時間帯　（N= 1,451）

Q6：交通障害や荒天時の勤務対応方針について

交通障害や荒天時における勤務対応方針について調査

- 「必要に応じて個別判断している」が798件で最も多かった
- 「全社的な方針を定めている」が334件、「特に定めていない」が247件と続いた

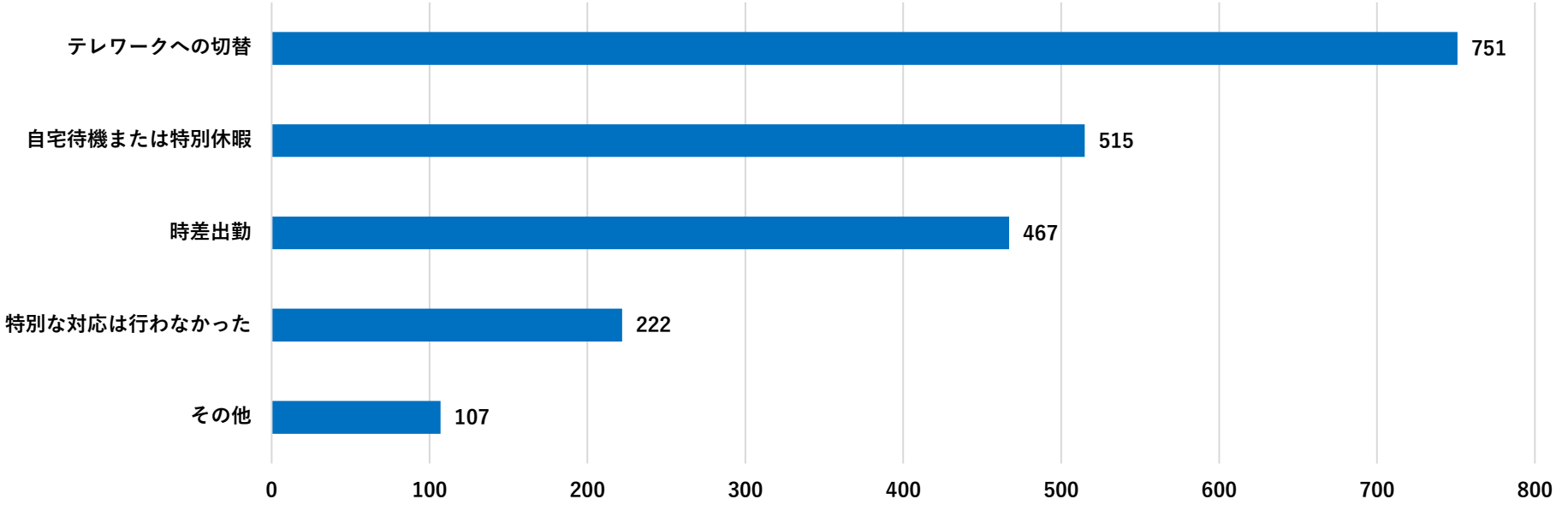


交通障害や荒天時の勤務対応方針　（N=1,451）

Q7：交通障害や荒天時に実際に行った対応について

交通障害や荒天時に実際に行った対応について調査

- 「テレワークへの切替」が751件で最も多かった
- 「自宅待機または特別休暇」が515件、「時差出勤」が467件と続いた

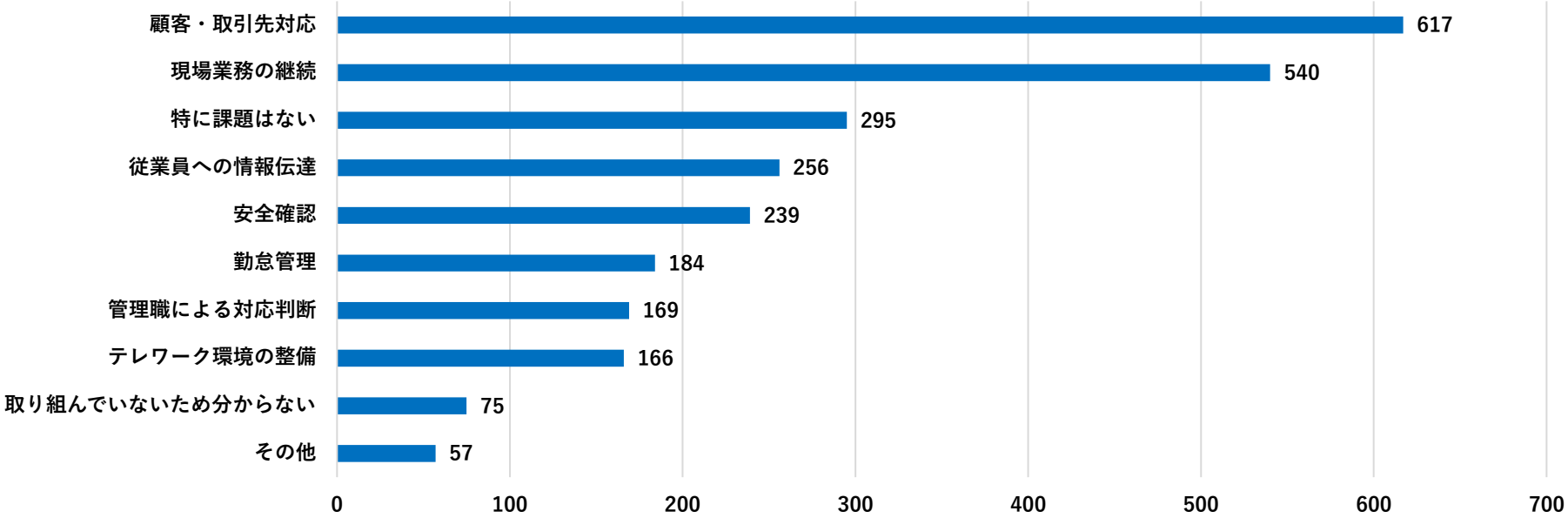


交通障害や荒天時に実際に行った対応　N=1,451　総回答数2,062（複数回答）

Q9：交通障害や荒天時の勤務対応における課題

交通障害や荒天時の時差出勤・テレワークにおける課題について調査

- 「顧客・取引先対応」が617件で最も多かった
- 「現場業務の継続」が540件、「特に課題はない」が295件と続いた

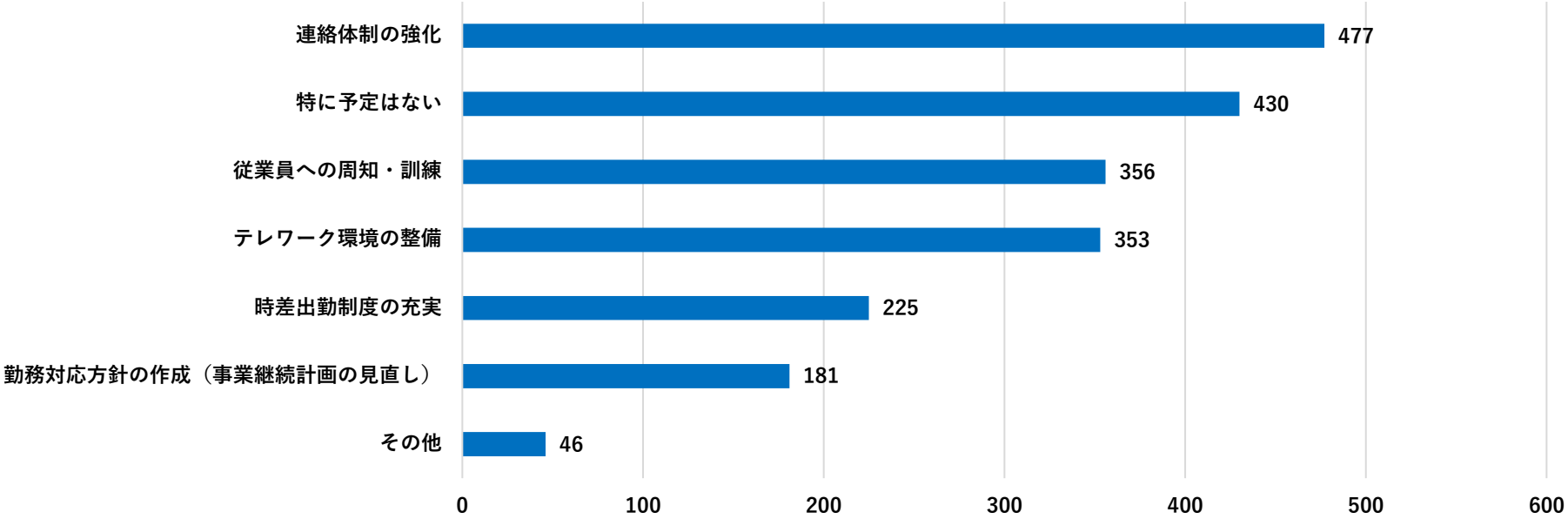


交通障害や荒天時の勤務対応における課題　N=1,451　総回答数2,598（複数回答）

Q10：今後強化したい勤務継続対応について

交通障害や荒天時の勤務継続対応として、今後強化したい取組について調査

- 「連絡体制の強化」が477件で最も多かった
- 「特に予定はない」が430件、「従業員への周知・訓練」が356件と続いた



今後強化したい勤務継続対応　N=1,451　総回答数2,068（複数回答）